



■はじめに

本ドキュメントでは、SD カードスロットを搭載した AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダにおいて、記録中のネットワーク上のストレージ（NAS 等）が何らかの理由により切断された場合、自動的にデバイス本体の SD カード録画への切り換え、及びネットワークストレージの復旧時に自動切り戻しさせるイベントの設定手順を説明します。

■設定手順

手順 1: AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定ページにアクセスする

1. Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. Live View ページ右上の「Setup」リンクをクリックします。

※以降の設定はこの Setup ページの中で行います。

手順 2 : SD カードの準備

1. デバイス本体の SD カードスロットに対応する SD カードを装着する。

※弊社では SanDisk 社のクラス 10 以上の SD/SDHC/SDXC カードをサポートします。(Extreme シリーズ推奨)
クラス 10 以下のカードでは、書き込み/読み込みスピードの関係で録画が正常に行えない場合がありますのでご注意ください。

ご使用いただけるディスク容量は以下のとおりです。

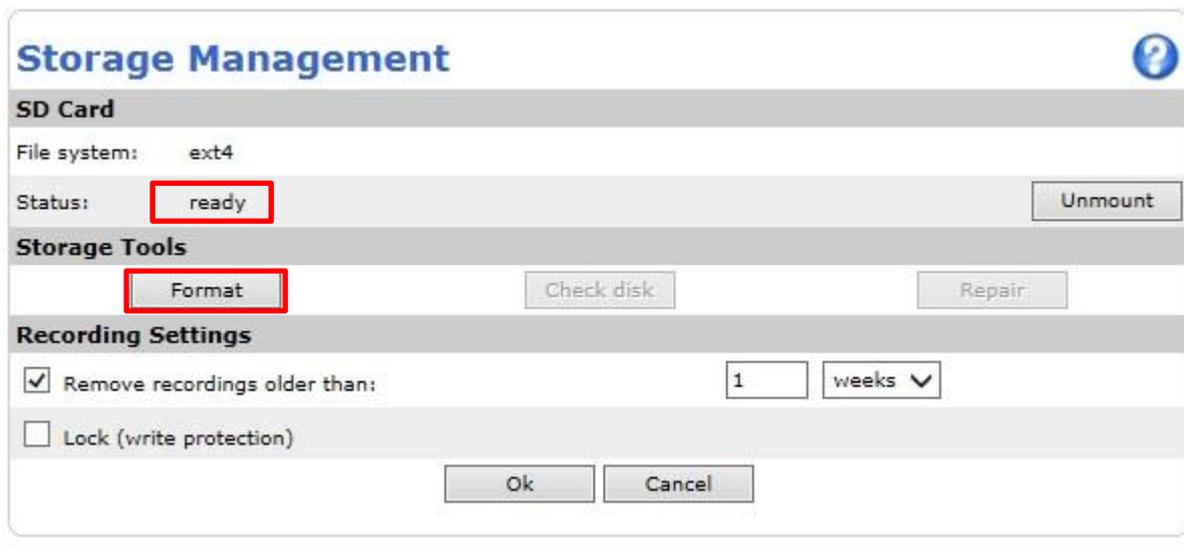
- ・ SD/SDHC カード…32GB まで
- ・ SDXC カード…64GB まで(※ファームウェア 5.4x 以上の製品でのみ利用可能)

なお、ディスク内には録画管理用の領域を作成する必要があるため、録画データの保存に利用できる領域は、ファームウェア 5.4x まではディスク全体の 72%、ファームウェア 5.5x 以降では 750MB を除く残りの領域となりますのでご注意ください。



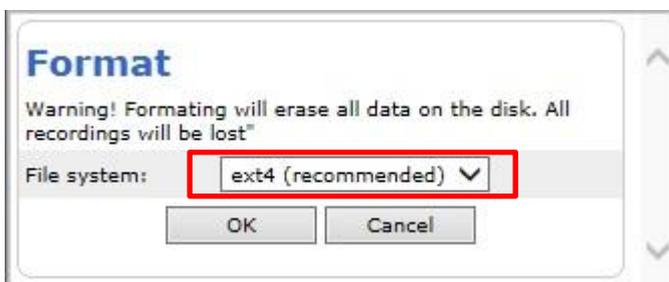
手順3：SDカードのマウントとフォーマット

1. SDカードが書き込み可能な状態であることを確認し、製品に挿入します。
2. 「Setup」 - 「System Options」 - 「Storage」 - 「Overview」を開きます。
3. 「SD Card」をクリックします。
4. SDカードが正しく認識されると、「SD Card」の「Status」が ready と表示されます。
フォーマットを実施するため、「Storage Tools」の「Format」をクリックします。



5. 「Format」ウィンドウが表示されます。プルダウンメニューから ext4 (recommended) を選択し、OK をクリックします。

※ext4 は従来の FAT に比べて安定した動作を行えるファイルシステムです。弊社では ext4 の利用を強く推奨します。ext4 は、製品ファームウェア 5.4x 以上からご利用いただけます。



6. SDカードのフォーマットが開始します。終了するまでそのままお待ちください。容量が大きいSDカードをご利用の場合フォーマットに長く時間がかかる場合があります。
7. フォーマットが終了しますと「Storage Management」の画面に戻ります。「File system」がext4、「Status」がreadyと表示されていることを確認してください。
なお、画面下の「Remove recordings older than」オプションでは、録画データの保存日数を指定できます。初期設定では1 weeksと設定され、1週間経過したデータは消去される設定となっています。
8. 設定が完了したらOKをクリックします。

手順4：イベントの設定

「Events」-「Action Rules」ページの「Add」ボタンをクリックし新規イベントの作成をスタートさせます。

1. 「Action Rule Setup」ウインドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

Enable rule

このルールを有効にするにはチェックを入れます。

Name

イベントの名前です。半角英数で任意の名前を設定してください。

Trigger

利用するトリガーの種類を選択します。

「Storage」を選択します。

ストレージの状態を選択します。

「Disruption」を選択します。

ストレージを選択します。

「Network Share」を選択します。

Disruption detected

トリガーの条件にしたいストレージの状態をラジオボタンで選択します。

「Yes」を選択します。

Schedule

24時間365日連続してイベントを実行する場合：

「Always (No Schedule)」を選択します。

スケジュールを利用する場合は、スケジュール名を選択します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合にチェックを入れ、トリガー条件を選択します。

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合は「Wait at least xx:xx:xx before re-running the rule」に時間を指定します。

Type

実行するイベントの種類です。録画の開始を設定したい場合「Record Video」を選択します。

Stream Profile

送信する画像の設定をストリームプロファイルから選択します。

ストリームプロファイルは「Video & Audio」 - 「Stream Profile」で設定・作成できます。

Duration

録画継続時間を以下のいずれかから選択します。

ネットワークストレージ復旧までイベントを動作させたい場合は「While the rule is active」を選択してください。

- ・ Pre-trigger time x seconds … イベントが起動する直前の画像を撮影します (単位：秒)。
- ・ While the rule is active … スケジュールやトリガー入力アクティブな間だけイベントが作動します。
- ・ Post-trigger time x seconds … イベントが起動してからの画像を撮影します (単位：秒)

Storage

イベント発生時の録画ストレージを選択します。

「SD Card」を選択します。

ネットワークストレージの切断時にデバイス本体のSDカード録画に切り替えるイベントの設定方法
(ファームウェア v5.6x 以上)

Action Rule Setup

Enable rule イベントを有効にするにはチェック

Name: NAS -- SD 任意のイベント名称 (半角英数)

Condition

Trigger: Storage (トリガーの種類 (Storage を選択))
Disruption (ストレージの状態 (Disruption を選択))
Network Share (ストレージの選択 (Network Share を選択))
Disruption detected: Yes No (トリガーとなる条件 (Yes を選択))

Schedule: Always (No Schedule) (スケジュールの選択)

Additional conditions その他の条件を追加する場合はチェック

Actions

Type: Record Video (アクションの種類 (Record Video を選択))

Stream profile: Balanced (ストリームプロファイル)

Duration: Pre-trigger time 1 second(s)
 While the rule is active (録画継続時間)
 Post-trigger time 1 second(s)

Storage: SD Card (録画ストレージの選択 (SD Card を選択))

OK Cancel

設定が完了したら「OK」を押下し保存します。

以上

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 12 月現在のものです。